

PROFILE / 小栗徳丸

名古屋生まれ名古屋育ち。世界コスプレサミット 実行委員会 実行委員長。イベント制作会社への就職後、テレビ局に勤める。コスプレをテーマとした番組のプロデューサーと務めることになり、先輩と共に世界コスプレサミットを立ち上げる。2003年のスタートから、2015年現在、世界26カ国の国と地域が参加する一大イベントに育て上げる。電子マネー「Eddy」の普及事業を行う。ジャパンエリアコードTV株式会社の代表取締役を務める。

PROFILE / 岸田メル

名古屋生まれ名古屋育ち。ライトノベルの挿絵や雑誌の表紙イラスト、アニメやゲームのキャラクターデザインも手掛ける。透明感のある色彩で、最も注目を集めるイラストレーター。代表作にゲームソフト「アトリエ」シリーズキャラクターデザイン、テレビアニメ「ノ・ノ・チ・ト」花咲くいろは、など。現在、東海ラジオにて「オカザえもん」と岸田メル1 withベリーボタンのパーソナリティを務める。

SPECIAL対談

世界コスプレサミット
実行委員会 実行委員長

小栗徳丸さん

世界コスプレサミット
公式キャラクターを手掛ける

岸田メルさん

―― まずは簡単に自己紹介をお願いします。

小栗徳丸 世界コスプレサミット実行委員会の実行委員長を務めています。テレビ局時代、先輩と一緒に世界コスプレサミットを立ち上げたのが13年前。毎年参加国も続々と増えて、お陰さまで今年は26の国と地域に参加していただけのような大きなイベントになってきました。

岸田メル アニメやゲームのキャラクターを作ったり、ライトノベルの表紙など描いたりしているイラストレーターです。最近是有難いことに、東海ラジオさんでオカザえもんとラジオのパーソナリティや、関東ローカルのテレビ番組でバカリズムさんとMCも一緒にやらせてもらうなど、イラストレーターの枠を越えて幅広く活動させてもらっています。

―― 岸田メルさんは世界コスプレサミットの公式キャラクターもデザインされていますね。

岸田メル 名古屋在住という縁もあり公式キャラクターを作らせてもらったのですが、地元で行われるイベントということもあり、高いモチベーションでやらせていただきました。

小栗徳丸 岸田メルさんには審査員もお願いしていますが、世界コスプレサミットのことは以前から知っていました？

岸田メル 僕自身、コスプレもしなければ写真を撮るわけでもないのでもなかったですが、テレビ番組も放送されていたし、地元名古屋の大きなイベントということでも、もちろん知っていました。ただ、関わらせてもらう前は、世界各国の代表がコンビを組んで、パフォーマンスを競い合うチャンピオンシップが行われているということは知りませんでした。

―― 他にも関わる事で、驚かされる事はありましたか？

岸田メル やはり、コスプレ世界NO.1を決めるチャンピオンシップですね。参加される外国人の方やスタッフの方たちの、そこに掛ける想いが一番驚かされました。外から見ただけですと、なかなか想像が湧かなかったのですが、「本当にアニメが好きなのか？」「仮装するのが趣味なんじゃないか？」と思っていた所が多少あったのですが、**皆さんの喜怒哀楽を肌で感じ、本当に心の底から作品やキャラクターを愛し、並々ならぬ決意で日本に来ていることを知りました。**

―― そうですね。私たち日本人よりも日本のことを愛してくれていますよね。では、日本のマン

ガやアニメは、なぜ世界中で受け入れられているのでしょうか？

岸田メル 僕自身の考察にはなってしまいますが、こういったサブカルチャーは、多少なりともその国の文化が反映されると思っています。アメリカやヨーロッパは、どこかマッチョの男は強くて敵を倒す、というのが大半だったりと思うのですが、日本のアニメやゲーム、マンガはそういったマッチョな思想だけではなく、可愛い女の子が主役になっていたり、これじゃなければダメだ！という制約が非常に少なく、作品にふり幅があり、それが新鮮で受け入れられているのではないかと。弱くてもイイ！ **マイノリティでのイイ！そこに共感してもらったり、救い**

小栗徳丸 私も全く同じです。アメコミはシンプルに子供をメインのターゲットにしながに派生していると思いますが、**今や日本のアニメやマンガは子供向けではなく、完全に大人向けであり、現実社会からも妄想できるようなりアリティもあります。**悪役にも凄く個性があり、悪役なのに共感できたり、さらにはその悪役と組んで、また違う敵を倒したり。そんな多種多様な世界観は、日本独自のモノだと思いますね。さらに、外国人にはなかなか描けない精密な描写、マンガに関してはそのカット割に至るまで、日本人がアメージングだと、海外の多くの人に評価されていますよね。

―― 岸田メルさんが作られた公式キャラクターに関しても、そこは表現されていますよね。

岸田メル 日本のキャラクターっぽさを踏襲しながら、各文化圏のイメージが何となく伝わるように作らせていただきました。**また、コスプレのキャラクターということもあるので、プロフィール設定と色々な服を着ても個性が際立つように意識して作りました。**

小栗徳丸 コスプレというのは、ゲームをやリ込んだ、アニメを見て感動した、マンガを全巻持っているなど、作品に対する想いが強くなった結果、コスプレで作品への愛情を表現する、そういった流れが一般的でまずは、作品ありきなんです。2013年に岸田メルさんに公式キャラクターを作ってもらったのですが、まだイラストだけしかない状態にも関わらず、自然発生的に海外でもコスプレしてくれる人をたくさん見かけましたし、当時



まだ参加待機国だったベトナムが、コスプレサミットへの敬意の表れとして公式キャラクターのコスプレで見学参加してくれました。そんな状況なので、**イラストだけでなくこの公式キャラクターに命を吹き込んであげたいなと強く思いました。**また、このイベントは、色々な国の文化を融合しながら発展させ、大きくしていきたいので、私たちに勝手に決めてしまうのではなく、**公式キャラクターをモチーフにしたライトノベル(小説)を世界中の人たちから募集します。**設定はある程度あるので、それを繋ぎ合わせてもらいながら、オリジナリティ溢れるストーリーを考えてもらい、キャラクターに息を吹き込んでもらいたいですね。

―― 公式キャラクターを世界コスプレサミットのアイコン的に認知してもらうわけですね。

小栗徳丸 今年で2回目となりますが、公式キャラクターをモチーフにした名古屋市交通局発行の「ドニチエコさっぷ」は、あっという間に完売しました。やっぱりキャラクターが可愛いからでしょうね。**このキャラクターを、名古屋に住む一般の方にも認知してもらい、さらには世界の人達にも愛されるキャラクターに育てていきたいという使命感に駆られています。**訪日外国人に優しいお店と海外在住の日本ファンを繋ぎ、加盟店から様々なサービスが受けられる、「楽天Eddy」が搭載された「JOC (Japan OTAKU Club)」を発行していますが、こちらのカードにも公式キャラクターを使用しています。



岸田メル 公式キャラクターのグッズなども、もっとたくさん作れるといいですね。

小栗徳丸 例えば、リアルクロウズのブランドとコラボするというのも面白そうですね。ブランドのデザイナーに公式キャラクターが着用するコスチュームのデザインをしてもらって、実際に同じ服が店舗にも並んでいるような。

岸田メル 凄く面白そうですね。

小栗徳丸 他にも世界コスプレサミットの公式カラ

ケルーム、公式ホテルルームなども実現できないか？ 動き始めています。

―― では、最後に世界コスプレサミットに興味を持っている方にメッセージをお願いします。

岸田メル キャラクターデザインはもちろん、審査員もやらせていただいで、イベント自体をもっと盛り上げていきたいですし、キャラクターをより多くの人に好きになってもらいたいです。やはりエンターテインメントなので、色々な仕掛けを考えていきたいですし、一緒に楽しんでもらいたいですね。

小栗徳丸 2020年に東京オリンピックを迎えるので、名古屋だけが置いてきぼりにならないようにしたいです。**この世界コスプレサミットは、世界的に見ても十分伸び代があるイベントだと思います。名古屋に愛され、日本に愛され、世界に愛されるイベントを作るということに力を費やさないです。**そのためには今現在、待機国が30カ国以上ありますので、それをできる限り受け入れられる体制を整え、60～70カ国から集まるイベントであり、国際交流の場にしていきたいです。

< 世界コスプレサミット 公式キャラクター >



世界コスプレサミット公式キャラクターに命を吹き込むのはアナタです！



公式キャラクターノベライズ 12月25日 募集スタート! 詳細はこちらまで! ▶ <http://www.worldcosplaysummit.jp/novel>